

8月の園だより

おまつりごっこ

たいようグループがお店屋さんを開いてくれました。くじや・ネックレスや・さかなや・わなげや・ポップコーンやの5店舗が開かれました。お店屋さんになったたいようグループは前日に看板を書いて、園内を回って宣伝。それを聞いて他の学年も買い物準備のお金を用意しました。

当日、お店さんの接客は上手で、何より優しい声掛けが良かったです。お客さんの子どもたちも0.1歳は大人と一緒にでしたが、2歳は自分でお店を見て歩いた子もいたようです。3.4歳の多くはそれぞれでお店を回って買い物をしました。中には何回もくじやに並んだり、お家の人の分もネックレスを買ったりもしていました。最後はハート組のポップコーンやのいい匂いに集まりおいしく食べました。



大中里こども園の文字教育

大中里こども園ではワークなどでの文字教育はしていません。ですが、今回のおまつりごっこなどの時「お店屋さんには看板がいるよね」と子どもと話し合いで出てきます。その時文字は生活の中で必要なものです。必要がある時に文字を書く、読むのは子どもの生活に自然です。そんな機会を大中里こども園は大切にしています。

行事の時に駐車場をお借りしている方へのご挨拶にも年長児にお手紙を書いてもらい一緒に渡しに行きました。誰かに何かを伝えるお手紙は文字が必要ですね。



七夕まつり会

七夕まつり会の日は暑い暑い晴れの日になりました。飾りやお願い事を笹に飾り、職員の劇を見たり七夕の歌で踊ったりしました。たいようグループのお願い事を聞き合おうと、逆上がりや小屋からのジャンプができるようになりたい、プールで8メートル泳げるようになりたいなど子どもの思いがわかるお願い事で、これからみんなで励ましたり応援していきたいと思いました。

会の後にはプールや水で遊び、顔つけや浮くことができるのをたくさん見せてもらいました。小さい子ども水の中に座ったり、頭にシャワーをしたり冷たい水で体を冷やしすっきりしました。七夕のご飯は…タコライス、そうめん汁、ポテトサラダ、すいか🍉でした。



体調管理 疫力を高めよう

夏は子どもの感染症が流行しやすい時期で、夏風邪と言われるヘルパンギーナや手足口病の流行のピークが7月とも。今年は増加の傾向が例年よりも早く始まり、多くの子どもが感染していると言われています。細菌やウイルスなど、感染症の病原体は目に見えません。

私たちにできる予防として手洗いうがいをきちんとする、免疫力をつけることが基本だと思います。体調が良いと、ウイルスが入っても症状が出ずに済むともいわれています。免疫力を高めるには、栄養のある食べ物をバランスよくとり、十分に休養して、気持ちを明るく楽しく過ごすことが大切です。